

## 岩宿（旧石器）時代を学ぶための参考図書

- 相沢忠洋●1973年『岩宿の発見』講談社  
相沢忠洋・関矢晃●1988年『赤城山麓の旧石器』講談社  
稲田孝司●1988年『旧石器人の生活と集団』古代史復原1 講談社  
稲田孝司●2001年『遊動する旧石器人』先史日本を復原する1 岩波書店  
岩宿博物館●2006年 第42回企画展展示図録『岩宿時代はどこまで遡れるか』  
海部陽介●2005年『人類がたどってきた道 “文化の多様性”の起源を探る』日本放送出版協会  
笠懸野岩宿文化資料館●1992年『岩宿時代』常設展示図録  
笠懸野岩宿文化資料館●1999年 第28回企画展展示図録『岩宿遺跡発掘50年の足跡』  
笠懸野岩宿文化資料館●2001年 第32回企画展展示図録『岩宿時代の動物たち』  
笠懸野岩宿文化資料館●2001年 第33回企画展展示図録『日本人のルーツをさぐる—日本人類史の検討—』  
笠懸野岩宿文化資料館●2002年 第35回企画展展示図録『最古の磨製石器—岩宿時代Ⅰ期の石斧の謎—』  
笠懸野岩宿文化資料館●2005年 第40回企画展展示図録『環状ブロック群—3万年前の巨大集落を追う—』  
木村英明●2005年『北の黒曜石の道・白滝遺跡群』新泉社  
旧石器文化談話会●2000年『旧石器考古学事典』学生社  
京都文化博物館●1997年『ヒトの来た道—人類500万年と列島最古の住民—』平成9年度特別展  
群馬県埋蔵文化財調査事業団●2005年『群馬の遺跡1 旧石器時代』上毛新聞社  
小菅将夫●2006年『赤城山麓の3万年前のムラ・下触牛伏遺跡』新泉社  
小菅将夫・大工原豊・麻生敏隆●2004年『群馬の旧石器』みやま文庫  
鈴木忠司●1984年『先石器時代の知識』考古学シリーズ3 東京美術  
須藤隆司●2004年『石槍革命・八風山遺跡群』新泉社  
堤 隆●2004年『氷河期を生き抜いた狩人・矢出川遺跡』新泉社  
堤 隆●2004年『黒曜石3万年の旅』日本放送出版協会  
栃木県立博物館●2003年 企画展図録『氷河時代の狩人たち—旧石器時代の自然とくらし—』  
仙台市富沢遺跡保存館●1996年『地底の森ミュージアム常設展示案内』  
仙台市富沢遺跡保存館●1996年 地底の森ミュージアム開館記念特別企画展『氷河時代を生きる—2万年前の旧石器人と動物たち—』  
群馬県立自然史博物館●2007年 第27回企画展『アイスエイジ 氷河時代を生きた動物たち』

## 謝 辞

この学習シートを作るために下記の方々や関係機関にお世話になりました。ここに記して感謝の気持ちを表します（敬称は省略させていただきました。50音順）。

相澤千恵子、安藤政雄、大貫英明、鹿又喜隆、さかいひろこ、坂本賢治、鈴木忠司、寺澤英人、戸田哲也、榑崎修一郎、萩谷千明、松原雅昭、村井勇、元井茂、森嶋秀一

相澤忠洋記念館、浅間火山博物館、加速器分析研究所、神奈川県教育委員会、かながわ考古学財団、葛生化石館、栗原医療器械店、群馬県埋蔵文化財調査事業団、群馬大学、相模原市立博物館、佐野市教育委員会、仙台市富沢遺跡保存館、玉川文化財研究所、とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター、栃木県立博物館、東京都教育委員会、北海道教育委員会、北海道埋蔵文化財センター、明治大学博物館、八千代市教育委員会